

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート結果の概要

令和8年3月

九州大学キャンパス計画室

福利厚生施設WG

1. 調査の目的

伊都キャンパスに通学している学生の生活状況等に関する調査を毎年度実施し、学生の生活状況等の現状や経年変化を把握することを目的とする。その結果をもとにして、キャンパス内における学生生活支援施設の運営や周辺地域における生活利便施設の立地促進・交通利便性の向上に取り組む。

2. 調査対象

伊都キャンパスに通学する学生 約14,000名

- ・学部1年生
- ・共創学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、工学部及び農学部の2年次以上の学生
- ・人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境学府、法学府、経済学府、理学府、数理学府、システム生命科学府、工学府、システム情報科学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府、マス・フォア・イノベーション連係学府及び人文情報連係学府の大学院生

3. 調査期間

令和7年12月1日（月）～令和7年12月26日（金）

4. 調査方法

学生ポータルシステム、掲示等にてアンケートの周知・協力依頼を行い、対象学生自身が九州大学アンケートシステムにアクセスし、Web上でアンケートに回答

5. 回答結果 ※括弧内は前回（令和6年度）の数値

(1) 回答数 2,599人 回答率18.6% (5.7%)

(2) 回答者属性 学年

学部学生 1,719人・66.1% 修士課程 564人・21.7%

博士課程 262人・10.1% その他 54人・2.1%

性別

男性 1,645名・63.3% 女性 916名・35.2%

その他 4名・0.2% 回答しない 34名・1.3%

6. アンケート回答結果の概要 ※括弧内は前回（令和6年度）の数値

(1) 通学について

① 通常時（雨天時以外）の通学方法【質問4参照】

・自転車が最も多く39.5% (39.4%)、次いでバス20.6% (19.2%)、徒歩のみ17.4% (17.8%)、バイク13.5% (14.7%)の順となっており、全体の91.0% (91.0%)を占めている。前回から大きな変化は見られなかった。

② 雨天時の通学方法【質問5参照】

・バスが最も多く37.7% (35.1%)、次いで徒歩のみが27.0% (28.6%)、自転車14.5% (15.7%)、バイク10.5% (10.7%)の順となっており、全体の89.7% (90.2%)を占めている。前回から大きな変化は見られなかった。

■通学方法

選択肢	通常時(雨天時以外)			雨天時			R7年度			差
	R7年度	R6年度	差	R7年度	R6年度	差	通常時	雨天時	差	
※1 地下鉄+JR筑肥線+昭和バス	4.4%	4.7%	-0.3%	5.2%	5.1%	0.1%	4.4%	5.2%	0.8%	
※2 ※3 地下鉄+JR筑肥線+自転車	1.1%	1.5%	-0.4%	0.5%	1.0%	-0.5%	1.1%	0.5%	-0.6%	
※1 JR筑肥線+昭和バス	1.5%	1.9%	-0.4%	1.8%	2.6%	-0.8%	1.5%	1.8%	0.4%	
※2 ※3 JR筑肥線+自転車	0.4%	0.6%	-0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.4%	0.2%	-0.3%	
※1 昭和バスのみ(学研都市駅方面)	8.0%	5.5%	2.5%	17.5%	13.1%	4.5%	8.0%	17.5%	9.5%	
※1 西鉄バス	4.5%	4.5%	0.1%	5.1%	5.4%	-0.3%	4.5%	5.1%	0.5%	
※1 昭和バスのみ(前原・周船寺小方面)	2.2%	2.6%	-0.4%	8.1%	9.0%	-0.9%	2.2%	8.1%	5.9%	
※3 自家用車	5.9%	5.7%	0.2%	6.8%	6.4%	0.5%	5.9%	6.8%	0.9%	
※3 バイク	13.5%	14.7%	-1.2%	10.5%	10.7%	-0.2%	13.5%	10.5%	3.1%	
※2 ※3 電動アシスト付自転車	12.1%	11.1%	1.0%	4.8%	4.5%	0.3%	12.1%	4.8%	-7.3%	
※2 ※3 自転車 ※電動アシストなし	25.9%	26.2%	-0.3%	9.0%	10.1%	-1.1%	25.9%	9.0%	-16.9%	
徒歩のみ	17.4%	17.8%	-0.5%	27.0%	28.6%	-1.6%	17.4%	27.0%	9.7%	
その他	3.1%	3.2%	-0.2%	3.5%	3.5%	0.0%	3.1%	3.5%	0.4%	
合計	100%	100%		100%	100%		100%	100%		
参考集計										
※1 バス	20.6%	19.2%	1.4%	37.7%	35.1%	2.6%	20.6%	37.7%	17.1%	
※2 自転車	39.5%	39.4%	0.1%	14.5%	15.7%	-1.2%	39.5%	14.5%	-25.0%	
※3 パーソナルモビリティ	58.9%	59.8%	-0.8%	31.7%	32.8%	-1.0%	58.9%	31.7%	-27.2%	

③ 通学利便性を向上させるために必要なもの・希望すること【質問6参照】

・「鉄軌道系の導入44.4% (50.8%)」が最も多く、次いで「平日におけるバスの増便等の充実40.1% (39.4%)」、「夜遅くまでのバス運行35.4% (38.0%)」、「土日祝日におけるバスの増便等の充実29.4% (27.4%)」となっており、割合の増減はあるものの、上位の順位に変動はなかった。

④ 平均的な登校時間帯【質問7参照】

・1限開始前（～8:40）が27.8% (32.1%)、2限開始前（8:40～10:30）が52.8% (54.8%)であり、累計80.5% (86.9%)と減少した。なお、3限開始前（～13:00）に登校している学生は累計95.7% (97.4%)となっている。

⑤ 平均的な下校時間帯【質問8,9参照】

- ・4限終了前（～16:20）は累計12.2%（13.0%）であるが、4限終了後（16:20～17:00）が28.0%（26.7%）と最も多くなり、その後、サークル活動や研究・実験終了後の17:00～21:00の間で分散している。17:00～21:00の割合44.6%（45.7%）のなか、さらに遅い時間帯（21:00～22:00）の割合も比較的多く、9.1%（7.2%）となっている。
- ・平均登校日数は、約4.47日/週間（約4.68日/週間）であった。

(2) 住居について

① 現住所【質問11参照】

- ・元浜・九大新町が一番多く21.3%（25.0%）、次いで、九大学研都市駅周辺18.9%（15.7%）、周船寺駅周辺11.8%（10.2%）、ドミトリー・協奏館9.5%（7.3%）、糸島市泊5.6%（6.1%）、泉・富士見・田尻4.9%（5.1%）と前回同様の順番であるが、キャンパス近隣30.8%（32.4%）駅周辺36.7%（33.7%）と若干差が広がった。また、糸島半島内に住んでいる学生を集計すると81.8%（80.6%）となり、キャンパス周辺への居住の定着が見える結果となった。

■エリア別居住率

選択肢	割合		差
	R7年度	R6年度	
福岡市東区	1.6%	2.5%	-0.9%
福岡市博多区	0.8%	1.2%	-0.4%
福岡市中央区	1.6%	2.2%	-0.6%
福岡市南区	1.5%	1.5%	0.0%
福岡市城南区	1.1%	0.7%	0.3%
福岡市早良区	2.7%	2.7%	0.0%
福岡市西区筑肥線姪浜駅～下山門駅周辺	2.3%	3.0%	-0.7%
※2 福岡市西区今宿駅周辺	2.0%	2.1%	-0.1%
※2 福岡市西区九大学研都市駅周辺	18.9%	15.7%	3.2%
※2 福岡市西区周船寺駅周辺	11.8%	10.2%	1.6%
福岡市西区横浜	1.2%	1.1%	0.1%
福岡市西区泉・富士見・田尻	4.9%	5.1%	-0.2%
※1 福岡市西区元浜・九大新町	21.3%	25.0%	-3.7%
※1 ドミトリー・協奏館	9.5%	7.3%	2.2%
福岡市西区その他	1.8%	1.5%	0.3%
糸島市泊	5.6%	6.1%	-0.5%
※2 糸島市波多江駅周辺	2.8%	3.9%	-1.1%
※2 糸島市糸島高校前駅周辺	0.4%	1.0%	-0.6%
※2 糸島市筑前原駅周辺	0.8%	0.9%	0.0%
糸島市その他	0.7%	0.6%	0.0%
その他(福岡市外・糸島市外)	6.6%	5.5%	1.1%
	合計	100%	100%
参考集計			
糸島半島内	81.8%	80.6%	1.2%
※1 キャンパス近隣	30.8%	32.4%	-1.6%
※2 駅周辺	36.7%	33.7%	3.0%

- ② アパート・マンションなどの居住条件や設備で重視したもの【質問14参照】
- ・家賃51.3% (51.6%) が最も多く、次いで、大学からの距離42.3% (45.0%)、バス・トイレが別36.9% (39.1%)、広さ31.1% (29.6%)、インターネット設備23.1% (23.9%) を重視するとの回答が続いており、割合の増減はあるものの、上位の順位に変動はなかった。
- ③ 自宅周辺に不足しており今後必要な施設【質問15参照】
- ・スーパー46.0% (59.7%) が最も多く、次いで、娯楽施設38.3% (30.2%)、飲食店37.6% (37.4%) と続いており、生活面での利便性とまちの賑わいが重視されているなか、特に娯楽施設の割合が増加した。キャンパス近隣に住んでいる学生は、スーパーや飲食店の割合が多く、駅周辺では、特に無しとの回答も一定数見られる一方、娯楽施設や飲食店、書店の割合が多くなっている。
- ④ 居住地の周辺環境【質問16参照】
- ・半数以上の57.1% (54.4%) が満足している一方、26.7% (33.6%) が不満を感じている。

(3) キャンパスでの生活について

- ① 伊都キャンパスとその周辺の施設【質問22参照】
- ・学生の31.3% (25.8%) が満足している一方、41.5% (49.1%) が不満を感じており、差は縮小したものの、不満の方が多い状況である。
- ② キャンパス内に不足しており今後必要な施設【質問23参照】
- ・「駐輪場や駐車場」が39.8% (40.8%) と最も多く、次いで「休憩したり友人達と談笑できる場所」が39.0% (45.2%) となっており、順位が逆転している。
- ③ キャンパス周辺に不足しており今後必要な施設【質問24参照】
- ・「スーパー」が74.1% (80.1%) と圧倒的に多く、次いで「飲食店」が57.4% (55.8%)、「娯楽施設」が43.4% (39.9%) となっており、選択肢のなかで突出している。
- ④ 課外活動の場所・施設【質問25,26参照】
- ・場所について「伊都キャンパス及び周辺」が55.4% (59.9%)、施設について「九州大学の施設」が51.1% (55.7%) となっており、それぞれ選択肢のなかで突出している。一方で、部活やサークルに所属していない学生も39.3% (34.5%) と多く見られる。
- ⑤ アルバイトの場所【質問27参照】
- ・福岡市西区（キャンパス内を除く）が32.0% (31.4%) であるなか、内訳として九大学研都市駅周辺が11.2% (12.5%) と最も多く、次いで、伊都キャンパス内（ドミトリー・協奏館を含む）が6.8% (10.2%) となっている。西区以外では、中央区11.5% (12.6%) や博多区7.0% (6.8%) の割合が大きい。一方で、アルバイトをしていない学生も33.0% (29.5%) と多く見られる。

(4) その他の意見（自由記載欄）について

記載された全ての意見を「交通」「学内施設」「周辺環境」「その他」に分類した結果、「交通」が297件（34.6%）、「学内施設」が263件（30.7%）、「周辺環境」が284件（33.1%）、「その他」が14件（1.6%）であった。具体的な項目は以下のとおり。

■自由記載欄 意見分類

意見分類		回答数	割合
交通	運行本数・時間帯	57	6.6%
	運賃	97	11.3%
	運行ルート	3	0.3%
	混雑	11	1.3%
	道路渋滞	3	0.3%
	鉄軌道導入	40	4.7%
	AI運行バス	9	1.0%
	アクセス性	39	4.5%
	自動車通学・入構料	16	1.9%
	その他	22	2.6%
小計		297	34.6%
学内施設	駐車場	30	3.5%
	駐輪場	55	6.4%
	図書館	6	0.7%
	飲食店(食堂)	31	3.6%
	売店・コンビニ	19	2.2%
	ATM	8	0.9%
	課外活動施設	22	2.6%
	賑わい・憩い・交流機能導入	14	1.6%
	歩行環境	21	2.4%
	イノシシ	0	0.0%
	その他	57	6.6%
	小計		263
周辺環境	スーパー	157	18.3%
	ドラッグストア	6	0.7%
	飲食店	32	3.7%
	書店	5	0.6%
	賑わい・憩い・交流機能導入	43	5.0%
	学生住宅	5	0.6%
	その他	36	4.2%
	小計		284
その他	アンケート	4	0.5%
	その他	10	1.2%
小計		14	1.6%
合計		858	100%
(参考)回答者数		566	21.8%